

あらすじ

(以下、すべてのネタを明かしています)

1 第三次大戦後の1992年1月3日、サンフランシスコ警察署の賞金かせぎ(バウンティ・ハンター)、リック・デッカーは、出勤前に妻と口論をする。また、隣人に自分の飼っている羊が昨年死んでしまい、現在は偽物の電気羊であることを告白する。放射能に汚染されたこの世界では、生きている動物が少なく、高値で取引されている。本物の動物を飼うことは一種のステータス・シンボルとなっている。

2 かつては数千人を収容していた巨大なビルで暮らす特殊者(スペシヤル)ジョン・イジドアは模造動物修理店のトラック運転手をしている。多くのマーサー教信者同様、黒い共感(エンパシー)ボックスの取手を握って、石をぶつけられながらマーサーとともに坂を登ることが日課となっている。マーサーは、かつて死者をよみがえらせる時間逆行能力を有していたが、密告により捕まり、脳を破壊されてしまったという過去を持つ。イジドアは、下の階に誰かが越してきたことに気づく。

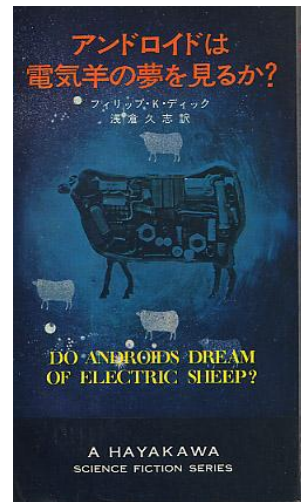
3 出勤したリックは上司のハリイ・ブライアント警視から主任バウンティ・ハンターのデイヴ・ホールデンが撃たれて入院したことを知らされる。ローゼン協会が製造しているネクサス6型アンドロイドの仕業だ。ネクサス6型は高い知能を持っているが、フォークト=カンブフ感情移入度測定検査をパスできるかはわからない。

4 デイヴは火星から北カリフォルニアに逃げて来たアンドロイド8人のうち、2人(アンダーズとギッチェル/202頁参照)を処理していたが、3人目のマックス・ポロコフを検査している最中に撃たれた。デッカーは、シアトルのローゼン協会へ行き、ネクサス6型または人間(デッカーにはどちらか知らされない)をフォークト=カンブフ検査にかけることをブライアント警視から命じられる。ソ連の精神科医たちが、検査に合格できない人間も少数ながら存在するという報告を出してきたため、警察としては検査が有効であることを証明しなければならないのだ。早速協会へ向かったデッカーは、そこで黒い髪の女性レイチェル・ローゼンの出迎えを受ける。最初の被験者は彼女だった。

5 検査の結果、レイチェルはアンドロイドだとデッカーは告げるが、叔父のエルドン・ローゼンはそれを否定する。彼女は宇宙船内部で育ったため、分裂病質(スキゾイド)になったのだ、と。エルドン・ローゼンは検査の失敗を記録し、デッカーを生きたフクロウで買収しようとする。デッカーは最後にもう一度検査を行い、やはりレイチェルはアンドロイドだと結論づける。エルドンもそれを認め、フクロウも偽物であったことを明かす。

6 イジドアは下の階に行き、黒い髪の女性と出会う。イジドアは彼女に「キップル」の話をする。キップルとは「役に立たないもの」のことで、ほうっておくとぐんぐん大きくなっていくのだ。彼女は最初レイチェル・ローゼンと名乗るが、イジドアに驚かれ、あわててプリス・ストラットンだと告げる。

7 イジドアは模造動物と思い込んで病気の猫を引き取るが、それは本物であり、運ぶ途中で死んでしまう。起こった店長はイジドアに飼い主への映話をさせるが、彼は飼い主に模造動物を購入させることに成功し、難局を切り抜ける。



ハヤカワ・SF・シリーズ 1969年6月



文庫初版 1977年3月 中西信行・画



映画カバー 1982年7月

8 サンフランシスコに戻ったデッカーは世界警察機構のサンドール・カダリイ刑事と協力することになる。ベイ・エリア清掃公社でポロコフを探す、もぬけの空。そこへカダリイ（実はポロコフ）が到着し、彼に襲われたデッカーは、逆に銃で頭蓋を破壊し、ポロコフを倒す。

9 デッカーはオペラ劇場へ行き、次の指名手配者であるオペラ歌手ルーバ・ラフトに会う。休憩時間に楽屋で彼女に検査をするが、変質者と思われ、警官を呼ばれてしまう。巡査に連行され司法本部へ向かい、北のロンバード通りでなく、南のミッション通りに到着する。巡査は、北は古い本部で今は使われていないと言う。

10 司法本部のガーランド警視に、デッカーが所有していた処理リストの3番目に自分の名があると驚かれる。デッカーは、バウンティ・ハンターのフィル・レッシュと会うが、彼はボネリ反射弧テストを使っており、フォークト＝キャンプ検査を知らない。ポロコフの骨髄検査結果が出て、彼はアンドロイドだったことがわかる。

11 レッシュがいない間に、ガーランドは自分の正体をデッカーに明かし、レッシュは合成記憶の移植を受けて自分を人間と思っているだけだと話す。戻って来たレッシュを撃とうとしたガーランドは逆にレッシュに撃たれる。二人はルーバ・ラフトのところへ向かうが、レッシュは自分を検査にかけてほしいとデッカーに頼む。

12 ムンク展を鑑賞しているルーバを見つけ出し、デッカーは彼女が複製を欲しがった〈思春期〉の収録されている画集を購入する。「あなたってとっても優しい」「人間たちには、とても奇妙でいじらしいなにかがあるのね」。自分はアンドロイドは大嫌いで、人間のまねをしていたと語るルーバ。レッシュは彼女を撃ち、デッカーがとどめを刺した。レッシュの検査をして、彼が人間であることがわかる。リックは自分を検査にかけ、ある種のアンドロイドへの感情移入が生じていることを知る。

13 プリスはイジドアに火星での生活を語る。火星は誰も住むべきではない場所で、彼女はひまつぶしに前植民期小説に読みふけていたという。話の最中に、ロイ&アームガード・ベイティー夫妻が到着する。

14 二人は残ったのは3人だとプリスに告げる。ポロコフたちがやられたのは人目にさらされていたためだと考えるロイは、ここに身を潜めようと提案する。プリスはイジドアの部屋に引越し、2人ずつのグループを作る。イジドアはようやく彼らがアンドロイドと気づくが、気にしない。密告しようとしないうちにロイは感嘆する。

15 ロイはイジドアを殺そうと提案するが、残りの2人は反対する。デッカーは3000ドルで山羊を購入する。妻の抑鬱も治り、彼は残りの3人を処理しに出かける。行く前に、彼はレイチェル・ローゼンをセント・フランシス・ホテルへ呼び出す。

16 レチェルはプリスの写真を見て、自分と同じ型だと気づき衝撃を受ける。「わたしたちは、このびんのキャップのように型押しされた製品なのね」。彼女はアンドロイドの機能停止装置をデッカーに渡す。その後、二人はベッドに入る。

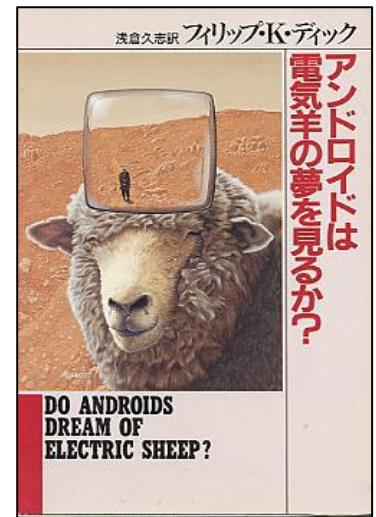
17 「これであなたは二度とアンドロイド狩りができなくなるわ」。レイチェルは、協会の指示でバウンティ・ハンターたちと寝ていた。怒ったデッカーは彼女を殺すと最初は言うが、結局できない。

18 バスター・フレンドリーがTVで共感ボックスの画面が書き割りだったことを暴露する。イジドアが見つけたクモの脚をプリスは鋏で切る。墓穴世界へ落ちてしまったイジドアをマーサーが救ってくれる。

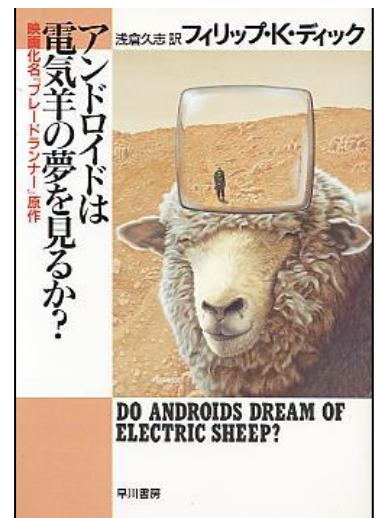
19 デッカーはマーサーの助けを得て、プリスを撃つ。そのままベイティー夫妻も撃って倒す。デッカー（とフィル）は6人のアンドロイドをたった1日で処理したのだ。

20 すっかり疲れて帰宅すると、レイチェルが山羊を突き落として殺したことを妻から聞かされる。**21** 北の無人の荒野へ行き、デッカーはマーサーとの融合を果たす。

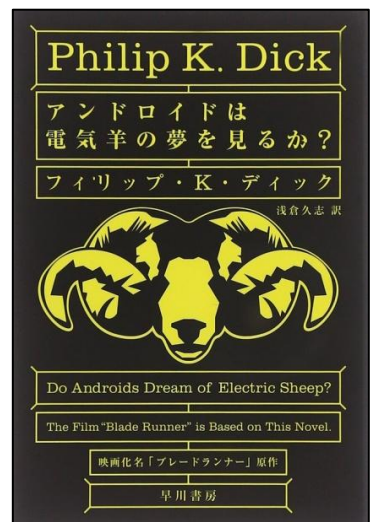
22 本物のヒキガエルを見つけたデッカーは喜んで家に持ち帰る。が、妻が制御パネルを見つける。「電気動物にも生命はある。たとえ、わずかな生命でも」とデッカーは気づく。



表紙デザイン・解説改訂 1994年7月



表紙デザイン改訂 1996年3月



表紙デザイン改訂 2008年9月

名古屋SF読書会URL
<http://www.ne.jp/asahi/science/fiction/dokusyokai/>

データブック邦訳長篇全リスト

作品名	D・E評価	総選挙	Title	Year	訳者	出版社	発行年月日	解説
1 偶然世界	☆☆☆☆	21位	Solar Lottery	1955	小尾英佐	ハヤカワ文庫SF241	1977/5/31	K-1牧 眞司
2 いたずらの問題	☆☆		The Man Who Japed	1956	大森 望	創元SF文庫SF1-11	1992/10/16	大森 望／宮部みゆき
3 ジョージズの世界	☆☆☆		The World Jones Made	1956	白石 朗	創元SF文庫SF1-5	1990/1/9	鳥居定夫
4 宇宙の眼	☆☆	10位	Eye in the Sky	1957	中田耕治	ハヤカワ文庫SF1975	2014/9/25	牧 眞司
5 宇宙の操り人形	☆☆		The Cosmic Puppets	1957	仁賀克雄	ちくま文庫C-4-2	1992/1/22	仁賀克雄
6 時は乱れて	☆☆		Time Out of Joint	1959	山田和子	ハヤカワ文庫SF1937	2014/1/15	高橋良平
7 未来医師	☆☆		Dr. Futurity	1960	佐藤龍雄	創元SF文庫SF1-19	2010/5/28	牧 眞司
8 ヴァルカン鉄槌	☆☆		Vulcan's Hammer	1960	佐藤龍雄	創元SF文庫SF1-22	2015/5/29	牧 眞司
9 高い城の男	☆☆☆☆	5位	The Man in the High Castle	1962	浅倉久志	ハヤカワ文庫SF568	1984/7/31	浅倉久志
10 タイタンのゲーム・ラリーヤー	☆☆	30位	The Game-Players of Titan	1963	大森 望	創元SF文庫SF1-4	1990/3/2	大森 望／牧 眞司
11 火星のタイム・スリッパ	☆☆☆☆	7位	Martian Time-Slip	1964	小尾英佐	ハヤカワ文庫SF396	1980/6/30	川又千秋
12 最後から二番目の真実	☆☆☆☆	27位	The Penultimate Truth	1964	佐藤龍雄	創元SF文庫SF1-18	2007/5/25	牧 眞司
13 シミュラクラ	☆☆		Simulacra. The	1964	汀一弘	サンリオSF文庫3-Q	1986/5/15	畑中佳樹
14 アルファ系衛星の氏族たち	☆☆		Clans of the Alphame Moon	1964	友枝康子	創元SF文庫SF1-12	1992/11/27	バリー・マールツバーグ
15 パーマー・エルドリッチの三つの聖痕	☆☆	6位	The Three Stigmata of Palmer Eldritch	1965	浅倉久志	ハヤカワ文庫SF590	1984/12/15	浅倉久志
16 ドクター・ゾラビダナー	☆☆☆☆		Dr. Bloodmoney	1965	佐藤龍雄	創元SF文庫SF1-17	2005/1/21	渡辺英樹
17 空間亀裂	☆☆☆		The Crack in Space	1966	佐藤龍雄	創元SF文庫SF1-20	2013/2/28	牧 眞司
18 去来を待ちながら	☆☆	13位	Now Wait for Last Year	1966	寺地五一・高木直二	創元SF文庫SF1-1	1989/4/21	寺地五一
19 テレホートされざる者	☆☆		The Unteleported Man	1966	鈴木 聡	サンリオSF文庫3-O	1985/8/31	鈴木 聡
20 逆まわりの世界	☆☆☆		Counter-Clock World	1967	小尾英佐	ハヤカワ文庫SF526	1983/6/15	神林長平
21 サツタ・ガン	☆☆	16位	The Zap Gun	1967	大森 望	ハヤカワ文庫SF1997	2015/3/15	大森 望
22 ガンメダ支配(R・ネルスンとの共著)	☆☆		The Ganymede Takeover	1967	佐藤龍雄	創元SF文庫SF1-21	2014/6/27	牧 眞司
23 ツンドロイドは電気羊の夢を見るか?	☆☆	2位	Do Androids Dream of Electric Sheep?	1968	浅倉久志	ハヤカワ文庫SF229	1977/3/15	浅倉久志
24 ユーベック	☆☆☆☆	1位	Ubik	1969	浅倉久志	ハヤカワ文庫SF314	1978/10/15	浅倉久志
25 銀河の垂直し	☆☆	15位	Galactic Pot-Healer	1969	汀一弘	ハヤカワ文庫SF2070	1983/5/25	巽 孝之
26 死の迷路	☆☆	19位	A Maze of Death	1970	山形浩生	ハヤカワ文庫SF2070	2016/5/25	山形浩生
27 フロックス8から来た友人	☆☆		Our Friends from Frolix 8	1970	大森 望	創元SF文庫SF1-10	1992/1/31	森下一仁
28 あなたをつくります	☆☆	24位	We Can Build You	1972	佐藤龍雄	創元SF文庫SF1-16	2002/3/22	牧 眞司
29 流れよわが涙、と警官は言った	☆☆	4位	Flow My Tears, the Policeman Said	1974	友枝康子	ハヤカワ文庫SF807	1989/2/15	大森 望
30 戦争が終わわり、世界の終わりが始まった	☆☆	18位	Confessions of a Crap Artist	1975	飯田隆昭	晶文社	1985/12/15	飯田隆昭
31 怒りの神(R・セラズニとの共著)	☆☆	3位	Deus Iae	1976	仁賀克雄	サンリオSF文庫3-G	1982/9/25	野口幸男
32 スキャナー・タークラー	☆☆	8位	A Scanner Darkly	1977	浅倉久志	ハヤカワ文庫SF1538	2005/11/30	浅倉久志
33 ヴァリス(新訳版)	☆☆	25位	Valis	1981	山形浩生	ハヤカワ文庫SF1959	2014/5/15	山形浩生
34 聖なる侵入(新訳版)	☆☆	23位	The Divine Invasion	1982	山形浩生	ハヤカワ文庫SF1988	2015/1/25	山形浩生
35 テイモニー・ブーチャーの転生(新訳版)	☆☆		Transmigration of Timothy Archer	1984	森下弓子	ハヤカワ文庫SF2040	2015/11/25	山形浩生
36 ライス民間警察機構	☆☆		Lies, Inc.	1984	飯田隆昭	創元SF文庫SF1-15	1998/1/30	牧 眞司
37 アルベマス	☆☆		Radio Free Albemuth	1985	大瀧啓裕	創元SF文庫SF1-13	1995/4/20	大瀧啓裕
38 小さな場所で大騒ぎ	☆☆		Puttingter About in a Small Land	1985	飯田隆昭	晶文社	1986/12/20	飯田隆昭
39 ユーベック・スクリューズレイ	☆☆		Ubik: The Screenplay	1985	浅倉久志	ハヤカワ文庫SF1441	2003/4/15	飯田隆昭／高橋良平
40 マリト巨人	☆☆		Mary and the Giant	1987	菊池 誠・細美遙子	筑摩書房	1992/12/25	菊池 誠
41 ニックとギリモンク	☆☆	21位	Nick and the Gimmung	1988	菊池 誠	筑摩書房	1991/8/25	巽 孝之／菊池 誠
42 市(まほろ)に虎声あらん	☆☆		Voices from the Street	2007	阿部重夫	平凡社	2013/8/9	阿部重夫／山形浩生

※複数の版がある場合は最新のものを記載／D・E評価はSFマガジン73年11月号「宇宙の人間形」D・エルワードより／総選挙はSFマガジン14年10月号(PKD総選挙結果)より